

看護研究バックナンバー(内容紹介)

Vol.44
No.6

SEP
OCT

焦点 | 看護と工学の連携 加速度センサの開発を出発点として

■看工連携によるイノベーション 金井 Pak 雅子

■看護と工学の連携による研究動向 前田樹海

■工学の立場からみた看護ケア 太田 順

【研究の実際—加速度センサを用いた看護技術教育支援システム開発のプロセス】

■加速度センサが識別可能な看護技術の特定

北島泰子, 平田美和, 相田京子, 高島有理子, 中村充浩, 前田樹海, 金井 Pak 雅子

■臨床看護師における車椅子移乗助技術の現状の探究

平田美和, 相田京子, 高島有理子, 中村充浩, 北島泰子, 前田樹海, 金井 Pak 雅子

■教科書に記載された車椅子移乗助技術の比較検討

相田京子, 高島有理子, 中村充浩, 北島泰子, 平田美和, 前田樹海, 金井 Pak 雅子

■座談会 看護と工学の連携がもたらす可能性

金井 Pak 雅子, 桑原教彰, 前田樹海, 太田 順

●特別記事

国際看護研究の魅力—タンザニアにおけるフィールドワークと米国大学院での経験①

異文化との出会いと人々との協働 新福洋子

●連載

看護研究の基礎—意義ある研究のためのヒント・5 概念枠組み・サブストラクション 坂下玲子

Vol.44
No.5

JUL
AUG

焦点 | 看護学研究発展の軌跡 研究方法論に着眼して

■精神障害をもつ人の体験世界の理解に基づく看護研究方法の模索 岩崎弥生

■対象理解に着目した看護学研究方法論の探究 正木治恵

■成人看護学領域における看護実践モデルを開発するための研究方法論の探究

眞嶋朋子, 山下亮子, 小坂美智代

■健康づくり・地域づくりに関する看護学研究と研究方法論の探究 宮崎美砂子

■母性看護学領域に根ざした研究方法論の探究 森 恵美

●特別記事

『APA 論文作成マニュアル 第2版』で何が変わったか 前田樹海

エスノグラフィーの方法的特質とは何か 黒田由彦

●連載

看護研究の基礎—意義ある研究のためのヒント・4 研究デザイン 坂下玲子

Vol.44
No.4

Suppl.

(増刊号)

焦点 | C.T. Beck 氏の研究から考える 看護における研究と方法

■Meta-synthesis : Helping Qualitative Research Take Its Rightful Place in the Hierarchy of Evidence C.T. Beck

■翻訳 メタ・シンセシス 質的研究をエビデンス階層の正しいレベルに位置づけるのに役立つ方法
C.T. Beck / 訳: 中木高夫, 黒田裕子

■翻訳 質的および量的アプローチを用いた研究プログラムの発展

C.T. Beck / 訳: 本田育美, 原沢(田中)優子, 和田恵美子, 小倉之子, 奥村(高田)美奈子, 中木高夫

【研究者としての歩み】

■C.T. Beck 氏の研究からみえてくるもの 文献レビューから考える 黒田裕子

【量的研究と質的研究】

■「概念」の数量化 尺度開発の基本的な考え方 高木廣文

■看護における質的研究方法の現在

進化の観点を踏まえて: Margaret Newman の「ニューマン・プラクシス」を中心に 遠藤恵美子

■質的研究は研究する人間をエンパワーできるか

グラウンデッド・セオリー・アプローチの多様化を通して 木下康仁

【産科・母性領域からのアプローチ】

■産褥期のうつ病の研究概観 スクリーニング尺度の開発と課題 岡野禎治, 國分真佐代, 南田智子

■出産後うつ状態のリスクを妊娠中に予測する

対話を大事にした C.T. Beck 氏の方法を中心に 池田真理, 上別府圭子

●特別記事

ソーシャルメディアが看護学の研究にもたらすもの 変わらないものと新たな可能性 深堀浩樹

